

令和5年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和4年8月9日

上場会社名 株式会社 ミクニ 上場取引所 東
 コード番号 7247 URL <https://www.mikuni.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 生田 久貴
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート本部 経理室長 (氏名) 柴田 恒 TEL 03-6895-0038
 四半期報告書提出予定日 令和4年8月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

1. 令和5年3月期第1四半期の連結業績（令和4年4月1日～令和4年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|------------|--------|-----|-------|-------|-------|-------|----------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 5年3月期第1四半期 | 20,637 | 7.6 | 415 | △64.9 | 349 | △68.7 | △122 | ー |
| 4年3月期第1四半期 | 19,183 | ー | 1,183 | ー | 1,116 | ー | 591 | ー |

(注) 包括利益 5年3月期第1四半期 2,050百万円 (30.9%) 4年3月期第1四半期 1,566百万円 (ー%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 5年3月期第1四半期 | △3.64 | ー |
| 4年3月期第1四半期 | 17.64 | ー |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|------------|---------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | |
| 5年3月期第1四半期 | 104,622 | 33,798 | 31.4 | 980.16 |
| 4年3月期 | 96,917 | 31,918 | 32.1 | 925.67 |

(参考) 自己資本 5年3月期第1四半期 32,893百万円 4年3月期 31,064百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-----------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 4年3月期 | ー | 5.00 | ー | 5.00 | 10.00 |
| 5年3月期 | ー | ー | ー | ー | ー |
| 5年3月期(予想) | ー | 5.00 | ー | 5.00 | 10.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 令和5年3月期の連結業績予想（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|------|-------|-------|-------|-------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 45,400 | 14.8 | 1,200 | △36.9 | 1,000 | △40.7 | 250 | △66.6 | 7.44 |
| 通期 | 95,000 | 17.6 | 3,500 | 5.5 | 3,100 | △1.2 | 1,400 | 6.2 | 41.71 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|---------|-------------|---------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 5年3月期1Q | 34,049,423株 | 4年3月期 | 34,049,423株 |
| ② 期末自己株式数 | 5年3月期1Q | 490,234株 | 4年3月期 | 490,219株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 5年3月期1Q | 33,559,200株 | 4年3月期1Q | 33,525,794株 |

(注) 「役員報酬BIP信託」及び「株式交付ESOP信託」が保有する当社株式を、期末自己株式数に含めております(5年3月期1Q 454,380株 4年3月期 454,380株)。また、「役員報酬BIP信託」及び「株式交付ESOP信託」が保有する当社株式を、期中平均株式数(四半期累計)の計算において控除する自己株式に含めております(5年3月期1Q 454,380株 4年3月期1Q 488,080株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 四半期決算補足説明資料につきましては、当社ウェブサイトに掲載する予定であります。
2. 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により、これらの業績予想とは異なる場合がありますことをご承知おきください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 4 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 8 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (会計方針の変更) | 9 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 9 |
| (セグメント情報等) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(令和4年4月1日～令和4年6月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの影響から持ち直しの動きにあったものの、自動車産業のサプライチェーンにおいては半導体などの部品不足による影響が長期化しました。海外ではロシアによるウクライナ侵攻が続き、中国においては経済活動の抑制の影響などがありました。米国では物価上昇が続き、金融政策による实体经济への影響が懸念されました。

このような経営環境のなか当グループにおいては、主力の自動車関連品事業が増収となり、売上高は206億3千7百万円(前年同期比7.6%増)となりました。半面、急激な原材料価格の上昇による影響もあり、営業利益は4億1千5百万円(前年同期比64.9%減)となりました。この結果、経常利益は3億4千9百万円(前年同期比68.7%減)となり、1億2千2百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失(前年同期は5億9千1百万円の純利益)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

[自動車関連品事業]

四輪車・二輪車・汎用エンジン用燃料供給装置類及びエンジン関連機能品類の製造販売を中心とする当事業の売上高は、前年同期に比べて増加しました。半導体などの部品不足による影響が長期化し一部の完成車メーカーの生産活動が制約を受けたことに加え、中国における経済活動の抑制による影響を受けました。一方、インドにおいては大幅な増収に加え、為替換算の影響等もあり、当事業の売上高は172億3千3百万円(前年同期比8.7%増)となりました。半面、原材料価格、燃料費の急激な上昇による影響もあり、営業利益は4億6千8百万円(前年同期比62.9%減)となりました。

[生活機器関連品事業]

ガス機器用制御機器類及び水制御機器類などの製造販売を中心とする当事業の売上高は、前年同期に比べて減少しました。海外において価格競争が激化しており、当事業の売上高は13億8千9百万円(前年同期比8.1%減)となりました。原材料費に加え物流費の上昇による影響もあり、営業損失は2億9百万円(前年同期は7千5百万円の営業損失)となりました。

[航空機部品輸入販売事業]

航空機部品類の売上高は、前年同期に比べて増加しました。民間航空機事業では国内路線需要が回復基調にあり、単通路型機を中心に生産の復調が見られました。加えて、外国為替が大幅な円安水準で推移したことで一部の輸入品販売事業が押し上げられたこともあり、当事業の売上高は5億5千4百万円(前年同期比93.0%増)となり、営業利益は1億3千8百万円(前年同期は2千2百万円の営業損失)となりました。

[芝管理機械等販売事業]

芝管理機械等販売事業の売上高は、前年同期に比べて減少しました。ゴルフ場を中心とした顧客の設備投資は堅調に推移しているものの、仕入先製造メーカーによる製品供給に遅れが発生したこともあり、当事業の売上高は9億2千3百万円(前年同期比9.3%減)となりました。一方、アフターサービスへの注力により商品構成が改善していることもあり、営業利益は1千6百万円(前年同期比103.7%増)となりました。

[その他事業]

車輛用暖房機器類、福祉介護機器等の製造販売を中心とするその他事業の売上高は、前年同期に比べて増加しました。福祉介護機器が好調に推移し、その他事業の売上高は5億3千7百万円(前年同期比3.9%増)となりました。半面、架装用車輛の調達が困難になっていることもあり、営業利益は0百万円(前年同期比98.0%減)となりました。

【セグメント業績比較表】

(単位：百万円)

| | 令和4年3月期 第1四半期 | | 令和5年3月期 第1四半期 | | 売上高の増減 | | 営業利益の増減 | |
|-------------|------------------|-------|------------------|------|--------|-------|---------|--------|
| | 売上高 | 営業利益 | 売上高 | 営業利益 | 金額 | 比率 | 金額 | 比率 |
| 自動車関連品事業 | 15,848 | 1,263 | 17,233 | 468 | 1,384 | 8.7% | △794 | △62.9% |
| 生活機器関連品事業 | 1,512 | △75 | 1,389 | △209 | △123 | △8.1% | △133 | — |
| 航空機部品輸入販売事業 | 287 | △22 | 554 | 138 | 266 | 93.0% | 161 | — |
| 芝管理機械等販売事業 | 1,017 | 8 | 923 | 16 | △94 | △9.3% | 8 | 103.7% |
| その他事業 | 516 | 9 | 537 | 0 | 20 | 3.9% | △9 | △98.0% |
| 合計 | 19,183 | 1,183 | 20,637 | 415 | 1,453 | 7.6% | △767 | △64.9% |
| ご参考 外貨換算レート | 1米ドル=106.09円 | | 1米ドル=116.34円 | | — | | — | |

- (注) 1. 営業利益欄の△は営業損失を示しております。
2. 数値は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
3. 当四半期あるいは前年同四半期の一方若しくは両方がマイナスの場合の増減率は「—」としております。

【ご参考】 令和4年3月期～当第1四半期までの四半期毎の業績推移

(単位：百万円)

| | | 令和4年3月期連結会計年度 | | | | 当期 |
|-------------|------|---------------|--------|--------|--------|--------|
| | | 第1 | 第2 | 第3 | 第4 | 第1 |
| 自動車関連品事業 | 売上高 | 15,848 | 16,627 | 16,244 | 17,524 | 17,233 |
| | 営業利益 | 1,263 | 804 | 758 | 740 | 468 |
| 生活機器関連品事業 | 売上高 | 1,512 | 1,755 | 1,634 | 1,851 | 1,389 |
| | 営業利益 | △75 | △89 | △111 | △215 | △209 |
| 航空機部品輸入販売事業 | 売上高 | 287 | 332 | 593 | 402 | 554 |
| | 営業利益 | △22 | 17 | 244 | 46 | 138 |
| 芝管理機械等販売事業 | 売上高 | 1,017 | 1,109 | 903 | 846 | 923 |
| | 営業利益 | 8 | △0 | 4 | △45 | 16 |
| その他事業 | 売上高 | 516 | 548 | 597 | 634 | 537 |
| | 営業利益 | 9 | △13 | 5 | △12 | 0 |
| 合計 | 売上高 | 19,183 | 20,373 | 19,972 | 21,259 | 20,637 |
| | 営業利益 | 1,183 | 719 | 901 | 514 | 415 |

- (注) 1. 営業利益欄の△は営業損失を示しております。
2. 数値は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、1,046億2千2百万円となり、前連結会計年度末に比べて77億5百万円増加しました。

流動資産は、571億7千9百万円となり、前連結会計年度末に比べて61億6千9百万円増加しました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が2億9千6百万円減少したものの、現金及び預金が22億2千万円並びに棚卸資産が29億8千5百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、474億4千2百万円となり、前連結会計年度末に比べて15億3千6百万円増加しました。これは主に、建設仮勘定が7億3千9百万円増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、708億2千4百万円となり、前連結会計年度末に比べて58億2千6百万円増加しました。

流動負債は、396億2千1百万円となり、前連結会計年度末に比べて60億6千8百万円増加しました。これは主に、短期借入金が40億9千1百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、312億2百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億4千1百万円減少しました。これは主に、長期借入金が5億5千5百万円減少したことによるものであります。

純資産は337億9千8百万円となり、前連結会計年度末に比べて18億7千9百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失を1億2千2百万円計上したものの、為替換算調整勘定が20億3千2百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和4年5月12日に公表しました令和5年3月期の連結業績予想につきましては変更はありません。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (令和4年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (令和4年6月30日) |
|----------------|------------------------|-----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 5,060 | 7,281 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 18,820 | 18,555 |
| 電子記録債権 | 1,766 | 2,191 |
| 商品及び製品 | 11,666 | 13,139 |
| 仕掛品 | 6,571 | 7,636 |
| 原材料及び貯蔵品 | 3,134 | 3,581 |
| その他 | 4,067 | 4,837 |
| 貸倒引当金 | △76 | △43 |
| 流動資産合計 | 51,010 | 57,179 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 8,367 | 8,429 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 12,862 | 13,277 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 1,883 | 2,013 |
| 土地 | 11,820 | 11,870 |
| 建設仮勘定 | 2,432 | 3,171 |
| 有形固定資産合計 | 37,365 | 38,763 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1 | 1 |
| その他 | 809 | 858 |
| 無形固定資産合計 | 810 | 859 |
| 投資その他の資産 | 7,729 | 7,819 |
| 固定資産合計 | 45,906 | 47,442 |
| 資産合計 | 96,917 | 104,622 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (令和4年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (令和4年6月30日) |
|---------------|------------------------|-----------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 11,000 | 10,429 |
| 電子記録債務 | 887 | 1,603 |
| 契約負債 | 399 | 1,239 |
| 短期借入金 | 6,794 | 10,886 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 6,553 | 6,533 |
| 未払法人税等 | 349 | 372 |
| 賞与引当金 | 1,394 | 992 |
| 製品保証引当金 | 218 | 216 |
| その他 | 5,956 | 7,348 |
| 流動負債合計 | 33,553 | 39,621 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 22,015 | 21,459 |
| 役員報酬BIP信託引当金 | 66 | 66 |
| 株式交付引当金 | 23 | 23 |
| 退職給付に係る負債 | 3,106 | 3,156 |
| その他 | 6,233 | 6,497 |
| 固定負債合計 | 31,444 | 31,202 |
| 負債合計 | 64,998 | 70,824 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,215 | 2,215 |
| 資本剰余金 | 1,908 | 1,908 |
| 利益剰余金 | 16,886 | 16,594 |
| 自己株式 | △181 | △181 |
| 株主資本合計 | 20,827 | 20,535 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,709 | 2,621 |
| 繰延ヘッジ損益 | 13 | 161 |
| 土地再評価差額金 | 5,282 | 5,282 |
| 為替換算調整勘定 | 2,096 | 4,129 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 133 | 161 |
| その他の包括利益累計額合計 | 10,236 | 12,357 |
| 非支配株主持分 | 854 | 904 |
| 純資産合計 | 31,918 | 33,798 |
| 負債純資産合計 | 96,917 | 104,622 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日) |
|---|---|---|
| 売上高 | 19,183 | 20,637 |
| 売上原価 | 15,342 | 17,474 |
| 売上総利益 | 3,840 | 3,162 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,657 | 2,746 |
| 営業利益 | 1,183 | 415 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 4 | 5 |
| 受取配当金 | 75 | 73 |
| 持分法による投資利益 | — | 3 |
| 受取賃貸料 | 27 | 32 |
| その他 | 55 | 43 |
| 営業外収益合計 | 163 | 158 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 138 | 162 |
| 持分法による投資損失 | 53 | — |
| 為替差損 | 4 | 38 |
| その他 | 33 | 22 |
| 営業外費用合計 | 230 | 224 |
| 経常利益 | 1,116 | 349 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 1 | 1 |
| 投資有価証券売却益 | — | 10 |
| その他 | — | 0 |
| 特別利益合計 | 1 | 12 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 2 | 26 |
| その他 | 5 | 3 |
| 特別損失合計 | 8 | 30 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,108 | 331 |
| 法人税等 | 489 | 452 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 619 | △120 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 27 | 1 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | 591 | △122 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日) |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 619 | △120 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △139 | △88 |
| 繰延ヘッジ損益 | △9 | 147 |
| 為替換算調整勘定 | 1,049 | 2,069 |
| 退職給付に係る調整額 | 32 | 28 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 14 | 13 |
| その他の包括利益合計 | 947 | 2,171 |
| 四半期包括利益 | 1,566 | 2,050 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,508 | 1,998 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 58 | 51 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計適用指針第31号 令和3年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、一部の連結子会社は、税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 令和3年4月1日 至 令和3年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 | 四半期 連結損 益計算 書計上額 (注) 2 |
|-----------------------|------------|-------------|-------------------|--------------|--------|--------------|--------|-----|------------------------------------|
| | 自動車 関連品 | 生活機器 関連品 | 航空機 部品輸 入販売 | 芝管理機 械等販売 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 15,848 | 1,512 | 287 | 1,017 | 18,666 | 516 | 19,183 | — | 19,183 |
| セグメント間の内 部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 15,848 | 1,512 | 287 | 1,017 | 18,666 | 516 | 19,183 | — | 19,183 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 1,263 | △75 | △22 | 8 | 1,173 | 9 | 1,183 | — | 1,183 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、車輛用暖房機器類、福祉介護機器等の製造販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 | 四半期 連結損 益計算 書計上額 (注) 2 |
|-----------------------|------------|-------------|-------------------|--------------|--------|--------------|--------|-----|------------------------------------|
| | 自動車 関連品 | 生活機器 関連品 | 航空機 部品輸 入販売 | 芝管理機 械等販売 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 17,233 | 1,389 | 554 | 923 | 20,100 | 537 | 20,637 | — | 20,637 |
| セグメント間の内 部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 17,233 | 1,389 | 554 | 923 | 20,100 | 537 | 20,637 | — | 20,637 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 468 | △209 | 138 | 16 | 415 | 0 | 415 | — | 415 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、車輛用暖房機器類、福祉介護機器等の製造販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項
該当事項はありません。